



令和3年度に向けての重要政策提言の記者発表の様子 (9/14)

第351回 定例会議

9月補正予算など可決

新型コロナウイルスの感染警戒期が続いており、なお予断を許さない状況です。
兵庫県議会は9月23日から10月22日にかけて、第351回定例会を本会議場などで開き、新型コロナウイルス対策としての9月と10月の補正予算案や令和元年度決算案などの議案を可決しました。補正予算は今年通算7回目で、総額約7700億円となります。
今回の補正規模は延べ約2116億円。インフルエンザの流行期に備えた対応をはじめ、地域経済活動の回復などを着実に進めていくことを基本方針に、検査体制の充実や在宅高齢者等の孤立化対策、県内観光需要の早期回復支援などを盛り込みました。

身近な医療機関でコロナ診察

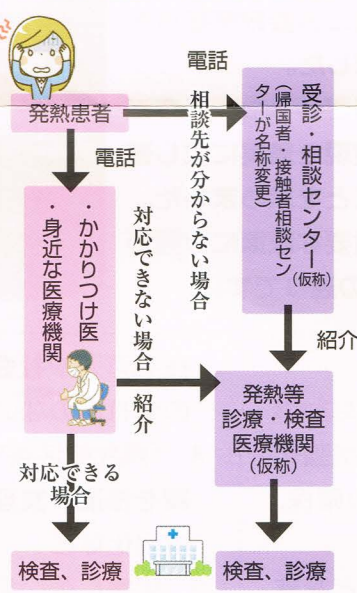
TOPICS

診療・検査医療機関を250カ所指定

※第1次指定774カ所(10月20日時点)

インフルエンザの流行期をひかえ、かかりつけ医や身近な医療機関を「発熱等診療・検査医療機関(仮称)」として県内250カ所を指定し、新型コロナウイルス感染の検査や診療が行えるよう体制を強化することを決めました。
従来は症状に応じて約70カ所の「帰国者・接触者外来」が中心となっており、新型コロナウイルスに対応してまいりましたが、新しい仕組みでは発熱などがある場合、まずは近くの診療所などに電話で相談し、対応できない場合に「診療・検査医療機関」を紹介。相談先が分からない場合は「受診・相談センター(仮称)」に連絡する体制になりました。

新しい検査・受診の流れ



組員の菓子まき阻止へ条例改正

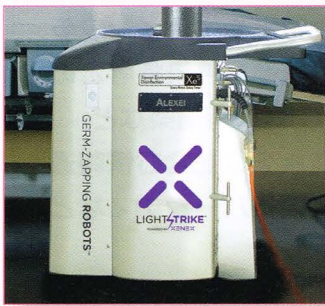
子どもとの関わりに歯止め

暴力団・山口組がハロウィンの日に子どもたちを神戸市内の総本部に招き入れていることを受け、県議会は「正当な理由なく、県議会は正当な理由なく、暴力団事務所子どもを立ち入らせることなどを禁じる暴力団排除条例の改正案を全会一致で可決しました。10月26日から施行されています。

ボウガン所持を一律規制

所持者ら届け出を義務づけ

ボウガン(弓)を凶器にした殺傷事件が立て続けに発生していることから、県議会は県内でボウガンを所持するすべての人に届け出を義務づける条例を可決しました。
違反者には5万円以下の過料を科す罰則を設け、12月1日から全面施行します。一律に所持を規制する条例は全国初です。規制対象は弦の引き重量が30ポンド(約13・6キ)以上で、販売事業者は購入者の身分確認や必要な事項の説明を義務づけ、取得後は氏名や住所などを14日以内に、施行前からの所有者は施行から30日以内に届け出する必要があります。県外からの転入者も同様です。



議員報酬「消毒ロボット」導入

県立9病院、医療関係者らの負担軽減へ

で、院内感染対策として効果が認められているものです。
通常は看護師が1部屋約1時間かけて清掃していますが、同ロボットを使えば1回平均5分程度で室内の消毒ができ、患者や医療関係者の負担軽減につながります。
総額は2億7千万円で、議員の6月期末手当や政務活動費の15%などを充てた1億円と、地方創生臨時交付金を活用しています。

新型コロナ対策で知事に緊急要望

現場の窮状、課題など盛り込む

県議会自由民主党議員団はこのほど、**新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望を知事に提出しました**。岡は筆頭政務調査会副会長として全体を取りまとめ作成しました。

議員団は9月3、4両日に県内の友好団体73団体と意見交換し、コロナ禍の厳しい窮状や課題をさまざまな分野の現場からくみ上げました。今回の緊急要望はその内容を踏まえ、医療や地域経済、県民生活などの分野から延べ15項目を盛り込んでいます。主な内容を下記に紹介します。



【医療提供体制・感染拡大防止対策のさらなる充実】

①新型コロナウイルス感染症のワクチン・治療薬の早期入手、接種体制の整備、②インフルエンザワクチンの確保と接種費用の助成、③認定こども園、保育園が臨時休園した際の園児の受け入れ体制の構築、④妊産婦へのメンタルヘルス対策等の強化など

【地域経済の活性化・地域の元気づくり】

①観光産業、農林水産業に関する各種消費拡大PR費用の

助成、②酒米、大麦、その他農産物の生産調整、品目転換への支援など

【ポストコロナ社会を見据えた兵庫の基盤づくり】

①県立公園や県立施設での公共WiFiなどの整備、②多自然地域等への移住・定住・二地域居住の促進

【その他】

①県民に寄り添った情報発信、②感染者やその家族、クラスターが発生した事業者の誹謗中傷や差別対策

来年度県当初予算の編成へ重要政策を提言

最重点6項目、重要47項目位置づけ

わが会派は9月、**令和3年度の県当初予算の編成を前に重要政策提言を井戸知事に手渡しました**。岡は全体の議事進行を行いました。

新型コロナの感染拡大防止と社会経済活動の両立をめざしつつ、兵庫五国が持つポテンシャルや多様性を生かした地域創生の実現を着実に成し遂げて「もっと好きになる兵庫」の実現につなげていくことを求めました。

特に重要な政策とした最重点提言6項目、各分野で重要な政策に位置づけた47項目に分けて提言しています。主な内容は下記の通りです。



【最重点提言項目】

- 1 **新型コロナウイルス感染症による影響への総合的な対策** = 次なる波に備え、医師会・看護協会などとの連携強化による医療・検査体制の充実、有効な治療薬等の確保、県立病院の機能強化など
- 2 **力強い兵庫経済の再生** = 観光産業や中小企業などを支える取り組み、事業継続支援・就労支援、新卒者の就職支援を重点的に実施、新たな起業・創業を創出する仕組みの拡充など
- 3 **兵庫五国の「地域創生」の実現** = 地域創生戦略で掲げる地域プロジェクト・モデルの積極推進、出会いサポート機能の強化、親元近居・三世同居のさらなる推進、

- 在宅育児や社会的養育支援の拡充、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援など
- 4 **「県民総活躍社会」の実現** = 高齢者、女性、障害者の活躍を推進、文理融合型教育の検証、未来を担う人材の育成強化など
- 5 **災害に強い兵庫の実現** = 社会資本整備や生活インフラの機能拡充、事前防災・減災対策の推進、感染症等との複合災害に強い地域を創る社会システムの再構築など
- 6 **兵庫の未来を切り拓く政策の推進** = 5Gを含む情報通信基盤の整備、地方の価値を高めるスーパーシティなどの調査・研究など

【このほか、重要政策提言47項目】

フォト・レポート



▲ 各種団体と意見交換。現場の課題などをくみ上げました (9/3、4)



▲ 文教部会で加古川市の県立農業高等学校を訪れ、乳牛の飼育、鷹の飼育・調教(フライトショー)を視察しました (9/2)



▲ 北朝鮮に拉致された日本人を救出するための署名活動を三宮で行いました (8/9)

◆◆◆ 今後の予定 ◆◆◆

11月 / 令和3年度
県当初予算編成への
申し入れ

12月 / 定例県議会

令和3年

1月 / 政務調査会
1.17 行事

など

今回より表題デザインを変更しました。